

## 統括保健師のリーダーシップ能力測定尺度の開発と評価

### 【研究目的】

拡大する市町村における保健師の分散配置は、保健師の活動の場を拡大したとされる一方で、保健師が地域を捉えることや、職場内研修の実施の困難さを生じさせたといわれています。この状況への対応として、現在、統括保健師を配置することが推奨されています。

しかし統括保健師に求められる能力や、その能力獲得のためにどのようなことが関係しているのかはまだ明らかにされておられません。

このような地域看護の状況を背景に、本研究は統括保健師に求められるリーダーシップ能力を測定する尺度を開発し、それを実践現場に適応して、実践現場の保健師の状況を明らかにし、今後の能力獲得に向けた提言を行うことを目的としています。

### 【研究内容】

保健師や関係者への聞き取りや文献から尺度項目を抽出・精選し、全国の市町村に配布して、尺度の信頼性・妥当性を検討し、これに基づき、全国の保健師の能力獲得状況、及びそれに関連する要因を明らかにします。

### 【研究期間】

平成 25 年 3 月まで

### 【地域看護への貢献】

- 統括保健師に必要な能力が明らかになります
- 尺度を用いることにより、どのような能力の獲得が必要かを認識することができやすくなります。
- 統括保健師に関する現任教育のニーズの把握に活用できます

### 【研究機関】

九州大学大学院医学研究院 保健学部門看護学分野 教授 鳩野洋子

日本赤十字広島看護大学 地域看護学領域 准教授 眞崎直子

武蔵野大学 看護学部 地域看護学 講師 鈴木浩子